

資 料

1 沿 革

- 明治43年 宮古町（現：宮古市）にあった岩手県立水産学校の校舎の一部に、岩手県水産試験場を創設
試験部、庶務部の2部制で発足
- 大正 9年 水産試験場庁舎を釜石町只越（現：釜石市）に移転新築
- 昭和 2年 津軽石、大槌、釜石さけ人工ふ化場を水産試験場に移管
- 4年 2月、水産試験場に漁業用海岸局（無線局）を設置
- 8年 昭和8年3月3日の三陸大津波で、大槌さけ人工ふ化場設備の一切を流失
- 14年 水産試験場庁舎及び漁業用海岸局を釜石市新浜町に移転新築
- 23年 水産試験場に漁船技術員養成所を併設
- 24年 組織を庶務会計部、漁労部、養殖部、製造部の4部制に改編
- 25年 気仙郡赤崎町に赤崎実験所を開設
- 27年 組織を庶務会計部、資源調査部、増殖部、製造部の4部制に改編
- 28年 気仙郡広田町に水産試験場気仙分場を開設。組織を庶務会計部、漁労調査部、製造部の3部制
に改編
- 31年 漁業用海岸局（無線局）を釜石市大平地区に移転新築
- 35年 組織を庶務部、漁撈調査部、増殖部、製造部の4部制に改編
- 36年 製造部を利用部に改称
- 42年 宮古市大沢に水産種苗センターと下閉伊分場を開設
- 44年 水産試験場庁舎及び附属施設を新築
- 45年 久慈市に水産試験場九戸分場を開設
- 48年 機構改革により庶務部、漁撈調査部、利用部、環境保全部、増殖部の5部制に改組。新たに専
門技術員が駐在。翌49年、漁撈調査部を漁業部に、利用部を加工部に改称、専門技術員を室
に改め5部1室制に組織改編
- 53年 専門技術員を林業水産部漁業振興課に移管
- 54年 大船渡市末崎町に岩手県栽培漁業センターを開設
- 55年 宮古市津軽石に下閉伊分場を移転、開設
- 56年 機構改革により気仙分場、赤崎実験所、水産種苗センターを廃止。水産試験場の増殖部と下閉
伊分場、九戸分場を栽培漁業センターに移管、下閉伊分場を宮古分場、九戸分場を久慈分場と
改称。水産試験場の組織を庶務部、漁業部、加工部、環境保全部の4部制に改編
- 57年 加工実験室を開放実験室として業者に開放
- 62年 九戸郡種市町に北部栽培漁業センターを開設。大船渡市末崎町の栽培漁業センターを南部栽培
漁業センターに名称変更
- 平成 元年 漁船技術員養成所を廃止
- 6年 3月、釜石市平田に庁舎移転新築。水産試験場及び南部、北部栽培漁業センターを統合して岩
手県水産技術センターに機構改革。宮古分場の名称をさけ・ます研究室に改称。総務部、企画
指導部、漁業資源部、利用加工部、増養殖部、種苗開発部、漁場保全部、さけます研究室の7
部1室制に改組。久慈分場は廃止
- 9年 さけます研究室業務を漁業資源部が所管し、職員は漁業資源部員（3名）が兼務
- 11年 組織改編により水産業専門技術員を本庁から水産技術センターへ移管
- 13年 宮古市津軽石のさけ・ます研究室を廃止
- 18年 岩手県行財政構造改革プログラムにより総務部、企画指導部、漁業資源部、利用加工部、増養
殖部及び漁場保全部の6部制に改編

- 19年 マナマコ種苗生産技術開発のため(社)岩手県栽培漁業協会種市事業所に駐在職員を派遣
 21年 マナマコ種苗生産技術確立により(社)岩手県栽培漁業協会種市事業所への職員駐在終了
 22年 水産試験場開設から100周年を迎える
 23年 東日本大震災津波によりセンター施設が被災
 26年 被災した施設の復旧工事終了。釜石市唐丹町にサケ大規模実証試験施設を整備

2 職員名簿

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
所 長 佐 久 間 修	H26.4.1 転入(前任・岩手海区漁業調整委員会事務局)
副 所 長 清 水 道 彦	H26.4.1 昇任(前任・漁業資源部長)
副所長兼漁場保全部長 山 口 仁	
首席水産業普及指導員 石 川 豊	
総 務 部	
主 幹 兼 部 長 平 野 晃	H26.4.1 昇任(前任・総務部長)
主 査 川 村 浩 幸	H26.4.1 転入(前任・北上川上流流域下水道事務所)
主 任 新 沼 照 美	
企 画 指 導 部	
部 長 久 慈 康 支	H26.4.1 内部異動(前任・増養殖部長)
主 査 専 門 研 究 員 平 嶋 正 則	H26.4.1 転入(前任・水産振興課)
主 任 専 門 研 究 員 田 中 一 志	
漁 業 資 源 部	
部 長 横 澤 祐 司	H26.4.1 転入(前任・県北広域振興局水産部)
上 席 専 門 研 究 員 後 藤 友 明	
上 席 専 門 研 究 員 小 川 元	H26.4.1 昇任(主査専門研究員)
上 席 専 門 研 究 員 山 野 目 健	H26.4.1 昇任(主査専門研究員)
専 門 研 究 員 児 玉 琢 哉	H26.4.1 転入(前任・県北広域振興局水産部)
専 門 研 究 員 山 根 広 大	H26.4.1 新採用
技 師 高 梨 愛 梨	
利 用 加 工 部	
部 長 菊 池 達 也	
上 席 専 門 研 究 員 上 田 智 広	H26.4.1 昇任(主査専門研究員)
主 査 専 門 研 究 員 藤 嶋 敦 敦	
主 査 専 門 研 究 員 小 野 寺 宗 伸	H26.4.1 転入(前任・地方独立行政法人岩手県工業技術センター)
増 養 殖 部	
部 長 武 蔵 達 也	H26.4.1 転入(前任・宮古水産振興センター)
上 席 専 門 研 究 員 田 老 孝 則	H26.3.31 (宮古水産振興センター勤務解除)
上 席 専 門 研 究 員 西 洞 孝 広	H26.4.1 転入(前任・県北広域振興局水産部)
主 査 専 門 研 究 員 堀 越 健 健	
専 門 研 究 員 大 村 敏 昭	
専 門 研 究 員 貴 志 太 樹	

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
漁 場 保 全 部	
主査専門研究員 加賀克昌	
主査専門研究員 加賀新之助	
主任専門研究員 内記公明	H26. 4. 1 昇任 (専門研究員)
専門研究員 渡邊志穂	
岩 手 丸	
船長 心得 村上孝弘	H26. 4. 1 昇任 (主任航海士)
上席機関士 湊光春	H26. 4. 1 昇任 (機関長)
主査機関士 熊谷勇一	
主査通信士 藤沢収樹	H26. 4. 1 昇任 (主任通信士)
航海士 藤井正樹	
航海士 中村宏	
航海士 武田拓也	
航海士 佐々木達	H26. 4. 1 (甲板員)
操甲板長 三浦義光	
甲板長 山崎久雄	
甲板員 佐野和也	H26. 4. 1 新採用
北 上 丸	
上席機関士 三浦雅幸	
船長 心得 三浦善広	
主任航海士 福野正紀	H26. 4. 1 昇任 (航海士)
主任通信士 黒沢清隆	
機関士 小山	